

けやき

Vol.19**2021.10**発行/宝塚さざんか福祉会
宝塚けやきの里

農福連携について

皆様にとって秋と言えどどのようなことを思い浮かべるでしょうか。私は「食欲の秋」です（食欲は年中かもしれませんが・・・）。そんな秋の中で私の一番の楽しみは黒枝豆です。妻の実家が農家という事もあり、この時期は食べるだけでなく、時々収穫等の手伝いも行います。普段事務仕事を中心の私にとって、農業は大変な作業ではありますが、それ以上にとても楽しくやりがいも感じております。数年前から、少しずつ農福連携が叫ばれております。実際に農家の方に話を聞くと、どこも人材不足の声が聞こえてきます。農業は誰にでもできる訳ではございませんが、構造化等をすれば、障がいがある方にとってもいい仕事だと実感しております。宝塚市でも、もっと農福連携が盛んになればうれしいですね。

※農福連携とは

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。

農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあります。

（出典：農林水産省 HP）

所長 脇田 幸治

今月のトピックス

Trick or Treat！（トリック オア トリート）

今月 10 月 15 日（金）にハロウィンパーティーを実施しました。この行事は昨年度から続くコロナ禍において、通常年間行事である一日活動と日帰りバスツアーの実施が困難であると判断し、その代替え行事として企画させて頂き、実施致しました。利用者自治会を中心に、行事当日だけでなく、事前準備から皆様で取り組み、当日を迎える前からお祭りムード。我々職員も一緒にハロウィンパーティー用の飾りつけを行う等しながら楽しませて頂きました。

行事当日は、午前中まずはオリジナルのデコレーションマスク作りから開始し、自身で制作したマスクにより、感染症対策としてのマスク着用を促すようにしました。その後、利用者自治会主催のハンカチピエロ作りに取り組みました。沢山の種類のハンカチの中から好みの物を選び、ハンカチに綿詰めをしてピエロに仕上げていきます。

お楽しみの昼食は購買活動の体験として現金を使用し、お弁当（パンの詰め合わせ）購入の練習をしました。

午後からはハロウィンならではの Trick or Treat！（トリック オア トリート）。お菓子を受け取る為の籠を制作し、魔女（脇田）とドラキュラ（片山）に仮装した職員まで貰いに行きました。本来であれば受け取る側が仮装しますが、皆様、お祭りモードで楽しく盛り上がり下さいました。

行事の最後はハロウィンのケーキとジュースを購入する練習をし、皆様に美味しく頂き、余韻に浸りながら行事を締め括りました。





新任職員紹介

ご利用者様、ご家族の皆様、地域の皆様、今年度9月より、ご縁があり一緒にさせて頂く運びとなりました。

美術科の高校、大学の経験、介護福祉士の経験を活かし、楽しく共に成長できますよう尽力して参ります。宜しくお願い致します。

畑 尚美（はた なおみ）



編集後記

秋を感じる前に冬とも思える程、寒くなってきました。衣替えの時に筆者は半袖を着ており、とある利用者の方から「長袖を着てください。」とお声掛け頂き、心の中では「気持ちが熱いんです。」と思いながら、返答に戸惑ってしまいました。（笑）

今月と来月辺りは沢山の行事が続きます。皆様、体調にはくれぐれも注意し、皆様が笑顔で来所されることをお待ちしております。

主任・サービス管理責任者 片山 翼

社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚けやきの里

〒665-0825 兵庫県 宝塚市 安倉西4丁目1番1号 TEL:0797-81-9161 FAX:0797-81-9162

e-Mail: keyakinatosato@sazankafukushi.com HP: <http://www.sazankafukushi.org/>



QRコードから施設ホームページへ
アクセスできます。

